

エピソード

前日の預かり保育の戸外遊びの時に、砂場で砂を掘ってできた道が残っていました。A くんが「昨日つくったのが残ってる」と呟き、その場で遊び始めました。しばらくして保育者が砂場に行ってみると、道は砂で埋まっていて A くん B くんがトンネルを掘っているところでした。A くん「トンネルにしようと思ってるねん」と話し、B くんも両側から掘り進めていました。手やスコップだけでなく、足を入れて見る姿もありました。B くんは「まだ届かへんな」と、寝転んで穴の中に手を伸ばし、A くんは「今この辺だと思う」と手でどこまで穴が掘れているかを伝えていると、突然 B くんが穴に向かって「A くん!」と呼びかけました。A くんはすぐに穴に耳を当て「聞こえる!」と笑顔で応えました。また B くんは「A くん、A くん、A くん」と呼びかけると、「聞こえたからもう少しでつながりそう」と A くんが言いました。保育者が「すごい!聞こえたの?! A くんが言っても B くんには聞こえるのかな」と言うと、A くん B くんは場所を変わり「B くん!」「ほんまや!聞こえる!」とそのやり取りを数回繰り返しながら、掘り進めていました。保育者がその場から少し離れていると、A くんが「先生!トンネルつながったよ!」と嬉しそうに知らせにきました。見に行くと上にも穴の開いたトンネルが出来上がっていました。A くん B くんは「次は水を流そう!」とできたトンネルに水を流し始め出しました。

子どもの育ちや学び

寝転んでも届かない
(確かめる) 😞

A くん!聞こえるかな? 😊
(面白さ) (聞こえるかなという期待)

B くん!聞こえるよね? 😊
(聞こえるだろうという期待) (確認)

トンネルをつなげたい
(目的) 😊

この辺まで掘れたかな
(予測・予想) 😞

聞こえた!もう少しだ! 😊
(驚き) (面白さ)
(つながりそうだという期待)

聞こえるかな?聞こえる! 😊
(どう聞こえるかワクワク) (喜び)



- ・「トンネルをつなげたい」という目的に向かい、手やスコップ、足など掘るための方法を考え、試す。
- ・トンネルがどこまでつながっているか、手や体の感覚で確かめたり予想したりし、言葉や身振りで伝える。

- ・呼びかけた声が聞こえたことで、「声が聞こえる=掘り進められている」と、もう少しでつながりそうだと判断する。
- ・互いに聞こえ方を確認することで、「もう少しでつながる」という同じ思いをもつ。
- ・見えないトンネルの中が想像できていることで、どうつながるか予想できる。

次は水を流そう!
(新たな目的) 😊

- ・声が聞こえたことで「もう少しでつながる」という期待となり、最後まで掘り続ける意欲や諦めない気持ちをもつ。
- ・トンネルの形ではなく、「つながる」ことが目的であった。その目的が達成できたことで「次は水を流す」という新たな目的が生まれる。



トンネルがつながった!
(達成感) (喜び) 😊

流れてくるかな?
(どう流れるかワクワク) 😊

保育者の思い

- ・少しずつ掘り進める A くん大胆に掘り進める B くんがそれぞれの方法で掘り進めているのが面白いと思って見守っていました。
- ・B くんが呼びかけた声は離れた場所でも聞こえるくらい大きかったのですが、その声が A くんにはトンネル越しに届いたことで「もう少し」という期待につながったのかなと思いました。B くんにも声が届く驚きや面白さを感じてほしいと思い、声をかけました。場所を移動するとは思っていませんでしたが、A くん B くん笑顔から、その面白さは十分感じられたのかなと思いました。
- ・つながったトンネルを見て「上が開いているトンネルだったのか!」と驚きましたが、「ここを掘ったらつながるかな」と予想しながら掘り進めたのかな、と想像し、大人の固定概念と子どもの柔軟な考えの面白さに気付かされました。

家庭だったら

- ・子ども達は見る、聞く、感じる、など五感を使っているいろいろな事を確かめたり判断したりしています。子どもが「こう思う!」という理由を聞いてみると子どもなりの面白い理由が聞けるかもしれませんね。